

新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止に関する情報について

村内イベント情報

※9月24日現在

【延期】

日 時	イベント名	備 考
9月11日～12日	下北地区中学校体育大会秋季大会	10月23日～24日に延期

【中止】

日 時	イベント名	備 考
10月23日	ヘルスアップ in さい	

新型コロナワクチン接種について

5月から始まった予防接種も対象となっている方の8割以上の接種が完了し、9月下旬から11月にかけて接種を見合わせていた方などを対象に実施しています。

予防接種の対象が12歳以上になりましたが、若い世代では「様子を見ている」「接種に対する不安がある」という声が聞かれます。ワクチン接種によって、症状の重症化や命を落とすことを軽減するということより、「副反応」を恐れているようです。

新型コロナワクチンに限らず、ワクチン接種そのものに漠然とした不安を感じている方は多いかもしれません。新型コロナウイルスに感染すると、どんな経過をたどり、どんな後遺症をもたらす、症状がいつまで続くのか、ワクチンの感染・発症・重症化予防効果や、副反応とその頻度、妊娠を希望している女性や子どもへの接種はどんな影響があるのかなど、正しい知識を収集しましょう。厚生労働省の「新型コロナワクチンQ&A」や日米の専門医有志が立ち上げた「こびナビ・COV-Navi」が参考になります。

「ワクチンを打っていいのか？」と迷っている方に

新型コロナウイルスに対する免疫をつけるには、ワクチンを接種するか、感染するかの二つしかありません。「子どもは重症化しないから、感染しても平気」と楽観できたのはデルタ株がまん延する前の話です。デルタ株が猛威を振るい、新しい変異ウイルスの脅威にさらされている現状では「誰でも重症化し、後遺症をもたらす可能性」があります。

ワクチン接種は強制ではありません。正しい情報を知ったうえで必要性や安全性を検討し、ワクチン接種を受けるかどうかの判断をお願いします。

正しく知ろう ワクチン接種

◆新型コロナワクチンの効果◆

- ・発症予防効果
- ・重症化予防効果
- ・身の周りの人を感染から守る効果
- ・変異株の新型コロナウイルスへの効果

一般論として、ウイルスは絶えず変化していくもので、小さな変異でもワクチンの効果がなくなるというわけではなく、変異株の新型コロナウイルスにも一定の効果が期待されます。

また、ウイルスは、感染者が増えれば増えるほど変異が起こるリスクは上がりますが、逆にいち早くワクチンが広がり、感染する人が減れば減るほど、変異ウイルスが誕生する確率を減らすことができます。

ワクチン接種後も感染予防対策を徹底しよう

国内で接種が行われている新型コロナワクチンは、高い効果が確認されていて、ファイザーのワクチンの場合、臨床で発症を防ぐ効果が95%と高いことが確認されています。

しかし、予防接種を受け、マスクを着用していたにも関わらず、長時間近くにいることで感染したという事例も散見されています。

ワクチン接種後も、マスクの着用や3密を避けるなど予防を続けましょう。今まで以上に換気を行い、マスクをしっかりと着用し、おしゃべりをする時間は可能な限り短くして大声は避け、人との距離には気をつけましょう。

